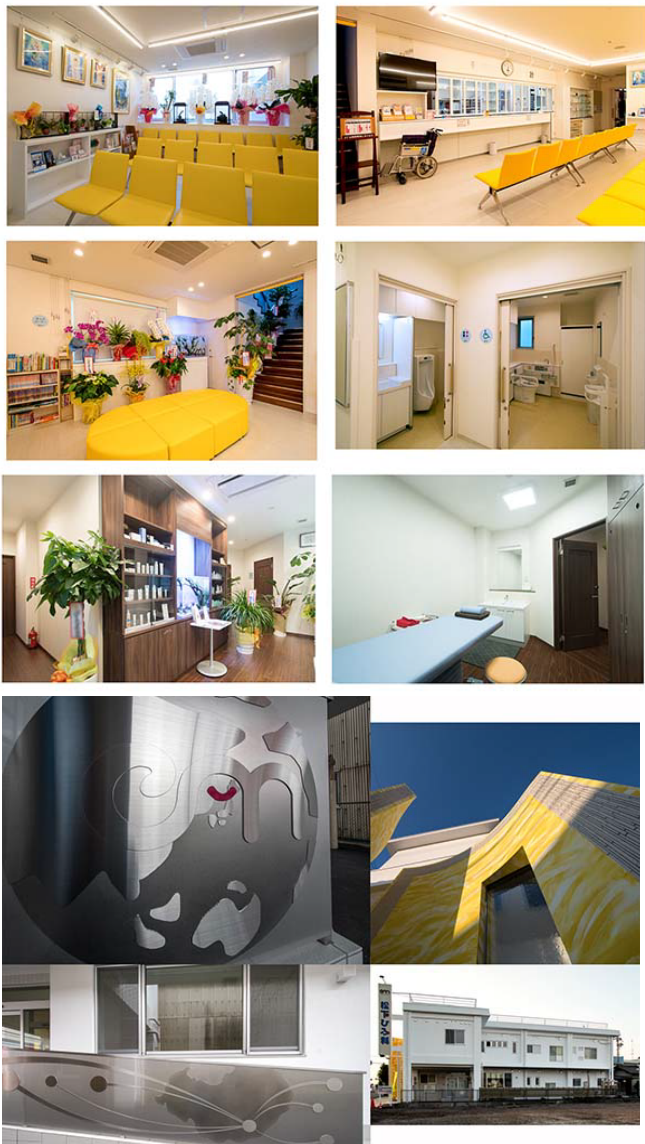


## ■ 院内写真

新病院がオープンして、もうすぐ4ヶ月が経ちます。  
皆様に愛される病院となるよう、スタッフ一同頑張っ  
てまいります。 宜しくお願いします。



## ■ スタッフのひとり言 担当：本多久美子

地球が創りだした神秘の大砂丘『レンソイス』



ブラジル・マランヤンス国立公園に広がる広大な砂丘は1月～6月の雨季の期間だけ真っ白い砂丘にエメラルドに輝く湖が現れます。『レンソイス』はポルトガル語で『シート』の意味。洗い立ての真っ白いシートのような砂丘が広がっています。面積 155,000 ヘクタール、宇宙からでも確認できるほど白く大きな砂丘です。砂丘の成分は石英(水晶)が100%を占めています。そして半年間だけ現れるこの美しい湖にはなんと魚がいるそうです!! どのようにして生息しているのかはまだ明らかにされていません。雨季が過ぎ、乾季に入ると湖は姿を消し、厳しい自然の顔を現します。

## ■ 病院案内

| 診療時間             | 月  | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|------------------|----|---|---|---|---|---|
| 午前<br>9時～12時30分  | ▲※ | ● | ● | ● | ● | ● |
| 午後<br>14時30分～18時 | ▲※ | ● | ● | × | ● | × |

※第2・第4月曜日が休診になります。

木曜と土曜の午後・日・祝日は休診です。

木曜・土曜の午後やお昼休みに往診・手術が出来ます。(要予約)

**松下ひろ科** 長崎県島原市新馬場町852-2  
〒855-0033 Tel 0957-62-6556

<http://taizou.biz/> ブログ:たいぞうの部屋



# たいぞう

広報



2016.10.12発行





先生の一言!!

野口さんとの付き合いは長い。以前から困ったら野口さん、そういう関係だ(笑)。交友関係が広く、

例えば、どこかで誰と食事をしたい、間違いなく的確な店を紹介してくれる(仲がいい有名シェフがたくさんいる)。野口さんを見ていると、人のお世話ばかりしている(与え続けている)が、それはお節介ではない。世の世話好きと言われていて人の多くは、単に優しい人なのではない。相手を自分に依存させ、自分が重要な人である事を実感したいだけなのだ。野口さんのそれは、見返りなど全く求めていない、無償の愛なのだ。この言葉をよく聞きますか？

「お世話になったんで・・・」だからこうしなければいけないで、がんじがらめになっている人、周りにいませんか(あなたもそうではありませんか)。

『世のため、人のため』をモットーとして生きている私も与え続けていますが、私の頭には見返りなんて言葉は存在しません(笑)。しかし、神ではありませんから、全ての人には無理です。やはり好きな人(波長があった人)に与えます。野口さんは、その許容範囲がすごく広いと思います。その結果、野口さんは『活かされている』のです。「自分は凡人だ」が口癖の野口さん、これが素晴らしい。私の周りにはこの人はすごいと思う人が多いのだが、皆謙虚だ。威張っている人で本当にすごい人、会ったことがありません。自分が一番と思った瞬間に、その人の進化は止まります。見返りを求めない、これは非常に難しい事かもしれませんが、この連鎖が続くといい事が起きそうな気がしますか・・・。

## ■ 先生のお友達・・・ トキグループ 野口泰治

### 『活かされている』

松下先生とのお付き合いは先生が長崎大学研修医時代からですので四半世紀を超えました。当時、私は製薬会社の営業マンでしたが、現在は退職し、福岡の調剤薬局グループで経営顧問のような仕事をしています。因みに私が長崎大学を担当したのはわずかに5年程度。「野口さんとは、程好い距離感の関係が長く続きますね!」と先生は良く言われます。考えてみると、ずっと離れていながら定期的に連絡を取ったり、お会いしたり・・・不思議なご縁です。“好き嫌いに一方通行はない”と言いますが、私が松下先生の人間的魅力に強く惹かれ、その思いが先生にも通じているのかもしれない。

私は今年還暦を迎えました。我国の65歳以上の高齢人口比率が26%を超える状況の中で、まだまだ、人生観を語るには自分は若輩者だと思っておりますが、最近になって確信したことがあります。それは私が多くの人によって『活かされている』ということです。

私は57歳で35年間務めた会社を早期退職しました。退職前は医療経営の専門職として全国の医療機関や専門家を取材し、雑誌を編集したり、依頼があれば研修会を開催したりすることが主な仕事でしたが、各方面の先生方のデータや助言がなければとても個人のノウハウだけで遂行できる内容ではありませんでした。また、再就職を考えた際も全国の先生・諸先輩・知人等にご厚情・ご支援をいただき円滑に現職に移行できました。

振り返ると学生時代から還暦になるまで、私は“人との出会い”に恵まれました。医療関係者はもとより、建設関連、水産関連、芸能・スポーツ関係者、和洋料理人・ソムリエ、弁護士・会計士等々、いろんなジャンルの方と長くお付き合いをさせていただき、今も様々な形で助けられています。

広報“TAIZOU”のNO.16の中で、長崎大学の松尾博臣教授(現：長崎商業高校 校長)が「私とは、私とまわりの環境のことである」と教えていただきましたが、私は周りの人たちに助けられて、間違いなく“私個人の能力を超えた過剰な評価”をいただいています。私の力はわずかであっても多くの人たちに不足部分をフォローしていただきながら、目標を達成し難題を解決してきました。きっと、今後もそうだと思います。ですから、『活かされている』ことに感謝ばかりでなく、ささやかでも、自分が誰かのためにできることを模索して実行することが私の目標です。最後にここ数年年末になると松下先生から心温まるメッセージを頂いておりますが、特に印象に残った昨年の手紙をご紹介します。



【 野口さん 】

福岡の書家：井上龍一郎先生のカレンダーを送ります。

今月初めに龍さんの書の個展を当院で行いました。

その時に、野口さんのために『覚醒』という言葉を書いてもらいました。さらに覚醒してください。

世のため人のために何ができるかです。人には大義があります。しかし、ほとんどの人はそれに気づかずに死んでいきます。来年もよろしくお願いいたします

【 TAIZOU 】

私は、松下先生にいろんな形で多くのフォローをしていただき確実に“活かされています”。感謝!!